

さわらび療育福祉センターの整備方法及び移転候補エリア

1 整備方法

移転建替とする。

【理由】

現在の施設は築55年経過し、長寿命化改修に適さないと判断され、建替が急務である。

現在地は弘前総合医療センター等の総合病院への緊急搬送に30分以上要し、センターの職員確保等にも支障が生じているなど、利用者の利便性等に大きな課題がある立地状況である。

2 移転候補エリア

総合病院（弘前大学附属病院・弘前総合医療センター・健生病院のいずれか）の近隣とする。

【理由】

新センターの医療・療育・福祉機能を充実させ、利用者の利便性の向上を図り、安全・安心な急性期医療を受けることができるようにするため、総合病院の近隣に移転する。